

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第4項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年12月26日

【四半期会計期間】 第67期第2四半期(自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日)

【会社名】 株式会社 A . C ホールディングス

【英訳名】 A . C HOLDINGS Co.,Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 金井 壮

【本店の所在の場所】 東京都港区芝大門一丁目2番1号

【電話番号】 03(5473)7722

【事務連絡者氏名】 経理事務連絡担当 平林 友伸

【最寄りの連絡場所】 東京都港区芝大門一丁目2番1号

【電話番号】 03(5473)7722

【事務連絡者氏名】 経理事務連絡担当 平林 友伸

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成24年5月14日に提出いたしました第67期第2四半期（自平成24年1月1日至平成24年3月31日）四半期報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

なお、訂正後の四半期連結財務諸表については、監査法人まほろばにより四半期レビューを受けており、その四半期レビュー報告書を添付しております。

また、四半期連結財務諸表の記載内容にかかる訂正箇所についてはXBRLの修正も行いましたので、併せて修正後のXBRL形式データ一式（表示情報ファイルを含む）を提出いたします。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

第2 事業の状況

3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

第4 経理の状況

2 . 監査証明について

1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

注記事項

(1 株当たり情報)

3 【訂正箇所】

訂正箇所は___を付して表示しております。

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

(訂正前)

回次	第66期 第2四半期 連結累計期間	第67期 第2四半期 連結累計期間	第66期
会計期間	自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日	自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日	自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日
売上高 (千円)	1,304,368	1,472,402	2,882,535
経常損失() (千円)	227,090	398,134	512,977
四半期(当期)純利益又は 四半期純損失() (千円)	219,008	367,299	398,069
四半期包括利益又は 包括利益 (千円)	185,747	362,205	363,714
純資産額 (千円)	7,824,626	7,40,388	8,002,593
総資産額 (千円)	9,037,453	8,779,835	9,141,494
1株当たり四半期(当期)純利益 金額又は四半期純損失金額() (円)	5.42	9.08	9.84
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	86.6	87.0	87.5

回次	第66期 第2四半期 連結会計期間	第67期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日	自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日
1株当たり四半期純損失金額() (円)	1.67	2.94

(訂正後)

回次	第66期 第2四半期 連結累計期間	第67期 第2四半期 連結累計期間	第66期
会計期間	自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日	自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日	自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日
売上高 (千円)	1,304,368	1,472,402	2,882,535
経常損失() (千円)	227,090	398,134	507,448
四半期(当期)純損失() (千円)	208,157	368,449	27,946
四半期包括利益又は 包括利益 (千円)	217,727	363,355	38,610
純資産額 (千円)	7,824,626	7,40,388	8,003,743
総資産額 (千円)	9,037,453	8,779,835	9,142,644
1株当たり四半期(当期) 純損失金額() (円)	5.15	9.11	0.69
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	86.6	87.0	87.5

回次	第66期 第2四半期 連結会計期間	第67期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日	自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日
1株当たり四半期純損失金額() (円)	1.67	2.97

第2 事業の状況

3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

(訂正前)

(1) 経営成績の分析

<省略>

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高14億72百万円(前年同四半期売上高13億4百万円)、営業損失1億95百万円(前年同四半期営業損失3億45百万円)、経常損失3億98百万円(前年同四半期経常損失2億27百万円)、四半期純損失3億67百万円(前年同四半期 四半期純利益2億19百万円)となりました。

(訂正後)

(1) 経営成績の分析

<省略>

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高14億72百万円(前年同四半期売上高13億4百万円)、営業損失1億95百万円(前年同四半期営業損失3億45百万円)、経常損失3億98百万円(前年同四半期経常損失2億27百万円)、四半期純損失3億68百万円(前年同四半期 四半期純利益2億8百万円)となりました。

(訂正前)

(2) 財政状態の分析

<省略>

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3億61百万円減少し、87億79百万円となりました。

流動資産は1億48百万円減少し37億69百万円、固定資産は2億13百万円減少し50億10百万円となりました。<省略>

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて3億62百万円減少し、76億40百万円となりました。<省略>

(訂正後)

(2) 財政状態の分析

<省略>

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3億62百万円減少し、87億79百万円となりました。

流動資産は1億49百万円減少し37億69百万円、固定資産は2億13百万円減少し50億10百万円となりました。<省略>

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて3億63百万円減少し、76億40百万円となりました。<省略>

(訂正前)

(3) キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により減少した資金は1億93百万円(前年同四半期は2億89百万円の減少)となりました。主な減少要因は、税金等調整前四半期純損失3億63百万円であります。

(訂正後)

(3) キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により減少した資金は1億93百万円(前年同四半期は2億89百万円の減少)となりました。主な減少要因は、税金等調整前四半期純損失3億64百万円であります。

第4 経理の状況
(訂正前)

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成24年1月1日から平成24年3月31日まで)及び当第2四半期連結累計期間(平成23年10月1日から平成24年3月31日まで)に係る四半期連結財務諸表については、監査法人まほろばによる四半期レビューを受けております。

(訂正後)

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成24年1月1日から平成24年3月31日まで)及び当第2四半期連結累計期間(平成23年10月1日から平成24年3月31日まで)に係る四半期連結財務諸表については、監査法人まほろばによる四半期レビューを受けております。

なお、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出していますが、訂正後の四半期連結財務諸表について、監査法人まほろばによる四半期レビューを受けています。

1 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(訂正前)

	前連結会計年度 (平成23年 9月30日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成24年 3月31日)
(単位：千円)		
<hr/>		
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,864,023	2,545,712
受取手形・完成工事未収入金等	419,728	480,504
商品	13,234	10,824
材料貯蔵品	14,074	11,998
販売用不動産	534,563	534,563
その他	98,948	211,767
貸倒引当金	27,168	26,299
流動資産合計	3,917,404	3,769,072
資産合計	9,141,494	8,779,835
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,500,000	3,500,000
資本剰余金	5,650,811	5,650,811
利益剰余金	482,408	849,708
自己株式	604,076	604,076
株主資本合計	8,064,325	7,697,026
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28,626	22,747
土地再評価差額金	6,153	-
為替換算調整勘定	26,953	33,891
その他の包括利益累計額合計	61,732	56,638
純資産合計	8,002,593	7,640,388
負債純資産合計	9,141,494	8,779,835

(訂正後)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年 9月30日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成24年 3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,864,023	2,545,712
受取手形・完成工事未収入金等	419,728	480,504
商品	13,234	10,824
材料貯蔵品	14,074	11,998
販売用不動産	534,563	534,563
その他	<u>100,098</u>	211,767
貸倒引当金	27,168	26,299
流動資産合計	<u>3,918,554</u>	3,769,072
資産合計	<u>9,142,644</u>	8,779,835
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,500,000	3,500,000
資本剰余金	5,650,811	5,650,811
利益剰余金	<u>481,258</u>	849,708
自己株式	604,076	604,076
株主資本合計	<u>8,065,475</u>	7,697,026
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28,626	22,747
土地再評価差額金	6,153	-
為替換算調整勘定	26,953	33,891
その他の包括利益累計額合計	<u>61,732</u>	56,638
純資産合計	<u>8,003,743</u>	7,640,388
負債純資産合計	<u>9,142,644</u>	8,779,835

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第 2 四半期連結累計期間

(訂正前)

(単位 : 千円)		
	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年10月 1 日 至 平成23年 3 月31日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年10月 1 日 至 平成24年 3 月31日)
特別利益		
固定資産売却益	-	107
貸倒引当金戻入額	22,248	-
持分法過年度修正益	427,165	-
前期損益修正益	103	-
受取補償金	-	29,348
競売による配当益	-	4,951
その他	5,381	107
特別利益合計	454,898	34,515
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失 ()	225,206	363,823
四半期純利益又は四半期純損失 ()	219,008	367,299

(訂正後)

(単位 : 千円)		
	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年10月 1 日 至 平成23年 3 月31日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年10月 1 日 至 平成24年 3 月31日)
特別利益		
固定資産売却益	-	107
貸倒引当金戻入額	22,248	-
前期損益修正益	103	-
受取補償金	-	29,348
競売による配当益	-	3,801
その他	5,381	107
特別利益合計	27,733	33,365
税金等調整前四半期純損失 ()	201,959	364,973
四半期純損失 ()	208,157	368,449

四半期連結包括利益計算書
第 2 四半期連結累計期間

(訂正前)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年10月 1 日 至 平成23年 3 月31日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年10月 1 日 至 平成24年 3 月31日)
	(単位：千円)	
四半期純利益又は四半期純損失 ()	219,008	367,299
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,965	5,859
持分法適用会社に対する持分相当額	36,226	766
その他の包括利益合計	33,260	5,093
四半期包括利益	185,747	362,205
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	185,747	362,205

(訂正後)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年10月 1 日 至 平成23年 3 月31日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年10月 1 日 至 平成24年 3 月31日)
	(単位：千円)	
四半期純損失 ()	208,157	368,449
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,965	5,859
持分法適用会社に対する持分相当額	12,535	766
その他の包括利益合計	9,569	5,093
四半期包括利益	217,727	363,355
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	217,727	363,355

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(訂正前)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年10月 1 日 至 平成23年 3 月31日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年10月 1 日 至 平成24年 3 月31日)
(単位 : 千円)		
<hr/>		
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は		
税金等調整前四半期純損失 ()	225,206	363,823
持分法過年度修正損益 (は益)	427,165	-
競売による配当益	-	4,951

(訂正後)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年10月 1 日 至 平成23年 3 月31日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年10月 1 日 至 平成24年 3 月31日)
(単位 : 千円)		
<hr/>		
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 ()	201,959	364,973
競売による配当益	-	3,801

注記事項
(1株当たり情報)

(訂正前)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額()	5円42銭	9円8銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は 四半期純損失金額() (千円)	219,008	367,299
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額 又は四半期純損失金額() (千円)	219,008	367,299
普通株式の期中平均株式数 (千株)	40,442	40,442

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

(訂正後)

1株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
1株当たり四半期純損失金額()	5円15銭	9円11銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額() (千円)	208,157	368,449
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失 金額() (千円)	208,157	368,449
普通株式の期中平均株式数 (千株)	40,442	40,442

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年12月20日

株式会社A.Cホールディングス
取締役会 御中

監査法人 まほろば

指定社員 公認会計士 土屋 洋 泰 印
業務執行社員

指定社員 公認会計士 赤坂 知 紀 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社A.Cホールディングスの平成23年10月1日から平成24年9月30日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年1月1日から平成24年3月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年10月1日から平成24年3月31日まで）に係る訂正後の四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社A.Cホールディングス及び連結子会社の平成24年3月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

その他の事項

四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は四半期連結財務諸表を訂正している。なお、当監査法人は、訂正前の四半期連結財務諸表に対して平成24年5月10日に四半期レビュー報告書を提出した。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。